

## 育友会広報誌の変遷

### ◇「北陽」から「ほくよう」へ

北陽小学校では、開校の年から広報誌を発行してきました。開校2年目までは7月と3月の年2回の発行でしたが、昭和52年度からは12月が加わり年3回の発行になりました。毎回広報部員の皆さんが知恵を出し合い、紙面を工夫して発行してきた広報誌も平成27年度までで、第121号になりました。この間、広報誌は、育友会の活動と学校の様子を保護者や地域の皆さんに伝える大切な役割を果たしてきました。

北陽小学校の広報誌は、これまでに二度大きく形を変えています。それぞれを便宜上、第一期、第二期、第三期と呼ぶことにします。

第一期は、創刊号から第64号（平成8年度）までです。体裁は、原則B5版6～8ページで作られていました。特集などを組むときは、ページ数が増え10ページという場合もありました。当時は、文字数が大変多く、紙面にはたくさんの情報が詰まっていました。当時の紙面を見ると原稿集めの苦労がうかがえます。ちなみに、創刊以来22年間発行された第一期の広報誌の表題（右）は、初代校長・山口辰男先生が書いたものです。

# 北陽

第二期は、第65号（平成9年度発行）～第106号（平成22年度発行）までのものです。この期間は、A3版4ページを原則にし、活字も大きくなり大変見やすくなりました。題字も「北陽」から「ほくよう」に変更し、全体的に柔らかい感じになりました。第一期と同様に、特集記事がある場合などは、6ページで作成していました。当時としては斬新なデザインで、広報誌コンクールの優秀賞を受賞したこともありました。後半は、二色刷になりました。

第三期は、第107号（平成23年度発行）から現在に至っています。体裁は、A4版6ページを基本にし、全ページカラー印刷で大変見やすいものです。

広報「ほくよう」は、今後も様々な情報を届けてくれるものと思います。